

あ

や

け

あ

2016.SEP

No. 5

特集

- ラグビー部 -今季リーグ開幕- P. 3
- ソーシャル・イノベーション副専攻課程
がスタート P. 4
- ホームカミングディ in 京セラドーム大阪 P.18



真の国際理解は 普遍的な人権の確認から

学 長 挨 拶

Setsunan University



学長 八木 紀一郎
Yagi Kiichiro

このところ世界では、宗教上の信念や人種的差異に関わった衝撃的なテロ事件などが相次いでいます。他方、欧州でも米国でも、文化的背景の異なる移民の排斥や、国際協調よりも自国優先を掲げる政治家が力を伸ばしています。世界が混乱への道をたどっているように思え、憂えざるを得ません。

これまでの国際社会では、宗教・人種・国籍を越えた普遍的人権が、すべての政策において考慮されるべき基本原則として合意されてきました。一般市民を自分勝手な理由で「敵」と見なして凶行におよんだ犯人たちは、この基本原則をその行動で否定しました。だからといって、テロや犯罪に対抗しようとする政治家が、移民や人種・宗教・性的指向上の少数者の権利を制限しようとするのも問題です。それは人々の多様性を社会の秩序と両立させようとしてきたすべての人の努力を水泡に帰させ、敵対を呼び掛ける声を拡げてしまいかねません。

国際連合は「世界人権宣言」で、差別のない国家を

越えた人権の尊重を訴えています。私はこの基本に立ち返ることが必要だと思えます。その最初の2条を詩人谷川俊太郎さんの分かりやすい意識で紹介しましょう。

第1条 みんな仲間だ

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりがかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。だからたがいによく考え、助けあわねばなりません。

第2条 差別はいやだ

わたしたちはみな、意見の違いや、生まれ、男、女、宗教、人種、ことば、皮膚の色の違いによって差別されるべきではありません。また、どんな国に生きていようと、その権利にかわりはありません。

摂南大学は、国際連合が世界の大学に呼び掛けた組織した「国連アカデミック・インパクト」に、その原則9と原則10で加盟しています。原則9は「持続可能性を推進する」ですが、原則10は「異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く」です。本学ではさまざまな環境教育・国際教育のプログラムがあり、これらは右記2つの原則に沿ったものです。

原則10の国際理解の出発点も、世界全体で通用する平等な人権という基本原則でしょう。そのような観点に立つて、国際理解をすすめるための教育をさらに発展させたいと考えております。

目次

学長挨拶……………2

特集

ラグビー部……………3

ソーシャル・イノベーション専攻課程……………4

摂南大学の特色ある取り組み

学生生活……………6

PBL／学生行事

就職状況・活動……………6

環境保全／図書館……………8

交流事業……………9

協定締結／国際交流

学部トピックス

法学部 外国語学部……………10

経済学部 経営学部……………11

理工学部 看護学部……………12

薬学部……………13

情報教育支援・研究支援……………14

入試インフォメーション……………15

後援会……………16

奨学金 学費減免ほか……………17

特集

ホームカミングデイ……………18





目指すは大学選手権

関西大学ラグビーAリーグの本学ラグビー部は5月、元ラグビー日本代表主将のアンドリュー・マコーミックさんをコーチに迎えました。現役時代に気迫溢れるプレーから“赤鬼”と呼ばれたマコーミックさんは、すでに「アンガスさん」の愛称でチームから慕われる存在です。2009年以來の大学選手権出場をかけた9月からの今季リーグへの意気込みなどをマコーミックさんを含む3人の指導陣に聞きました。



ラグビー部員一同

>>> 高まったチーム内コミュニケーション

河瀬泰治監督 (スポーツ振興センター 教授)

ラグビーを教えられる人はたくさんいますが、グラウンド外のことも指導できる人は少ないのです。ただ強いだけでなく好かれるチームを作ってくれと期待してアンガスにコーチをお願いしました。影響は大きくて彼が来てからチームが明るくなりました。選手がよく話すようになったからです。選手同士だけでなく年上の大人との「縦の会話」がものすごく増えたのには驚きました。



ラグビー部指導陣

アンドリュー・マコーミックコーチ

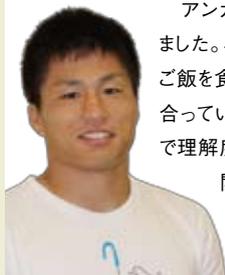
このチームはラグビーが大好きで素直な選手ばかりで、一緒にやっていると楽しいです。それは素晴らしいのですが、それだけではダメでもっと高い目標を持ち、人から言われるだけでなく自分から考えてチャレンジする選手が多くなると力は伸びません。指導でまず始めたのはチーム内のコミュニケーションアップのためのミーティング強化です。食事の時に選手同士のグループミーティングをするようにしたら、1カ月で戦術の理解度などが大きく変わりました。今季リーグに向けた課題は、はっきりしています。タックルの後の動きであったり、得意のアタックの時と比べてエネルギーが低すぎるディフェンスです。今季リーグはベスト3に入って大学選手権に出るという大きな目標がありますが、そのためには初戦の強敵、天理大と第2戦の同志社大を倒さないとはいけません。いいスタートを切りたいですね。

内部昭彦コーチ (スポーツ振興センター 講師)

選手にとってアンガスさんは憧れの存在で指導を受ける時の目の輝きが違います。ハートが熱く、細かい技術的なことでも豊富なアイデアをお持ちです。それでも自分の考えだけを押し付けることはなく、これまでのチームの伝統や文化も大切にしてくれます。

市野純弥さん (スポーツ振興センター)

>>> 木下亮太キャプテン (法律学科4年)



アンガスさんから教えてもらった戦術が浸透してきました。ミーティングの回数を増やして、部員は学食でご飯を食べながらも、練習での不安な点や課題を出し合っています。バラバラな意見を一つにまとめていく中で理解度も深まってきました。リーグ戦は全試合勝って関西で優勝し全国を目指します!

ぜひ応援に来てください!

今季リーグ戦日程

	日程	時間	対戦カード	会場
1	9月25日(日)	12:00	摂南大学 VS 天理大学	宝が池
2	10月 2日(日)	14:00	摂南大学 VS 同志社大学	花園I
3	10月 9日(日)	12:00	摂南大学 VS 関西大学	鶴見緑地
4	10月23日(日)	14:00	摂南大学 VS 立命館大学	宝が池
5	11月13日(日)	12:00	摂南大学 VS 近畿大学	天理親里
6	11月20日(日)	12:00	摂南大学 VS 関西学院大学	神戸ユニバー
7	11月27日(日)	14:00	摂南大学 VS 京都産業大学	鶴見緑地

ソーシャル・イノベーション副専攻課程^{※1}

今年4月から「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」がスタートしました！

学部・学科の垣根を越え、総合大学ならではの
幅広い知識・技能・態度を学修できるカリキュラムです。

現在1年次生のみですが、
履修者も多く関心の高さがうかがえます。
その学びの概要をご紹介します。

副専攻課程を通して身につく力[3つの力と8つのCan] → 未来の自分

未来の自分

多角的な視点で地域の状況を
分析した上で課題を発見し、
持続可能なまちづくりに
貢献できる知的専門職業人

3つの力

- ①異世代・異文化(多様性)を
主体的に理解する力
- ②地域社会の課題を主体的に
発見する力
- ③主体的に課題を解決し、
新しい価値を生み出す力

8つのCan

- ①前向きで主体的な行動
- ②リーダーシップ
- ③質の高いコミュニケーション
- ④質の高いプレゼンテーション
- ⑤チームでの協働
- ⑥自分の強み(長所)の発見・展開
- ⑦意見や立場の違いの理解
- ⑧新しいアイデアの創出

本副専攻課程では、「地域経済・経営」「地域政策・文化」
「地域環境・防災」「地域医療」を中心として、
多角的な視点で地域の状況を分析した上で課題を発見し、
持続可能なまちづくりに貢献できる知的専門職業人を育成します。

【副専攻課程の修了要件】

次に定める要件を全て充足していなければなりません。

- ① 4年以上(薬学部は6年以上)在学していること
- ② 所属する学部・学科で定められた卒業に必要な単位数を修得していること
- ③ 副専攻課程修了に必要な単位数を修得していること

副専攻課程修了に必要な単位数

科目区分	必要単位数
コア科目	4単位
アドバンスト科目	12単位以上 ※選択必修科目2単位を含む
演習科目	2単位
合計	18単位以上

※1「副専攻課程」…自分が所属する学部・学科で、学位を修めるために履修していく教育カリキュラム(主専攻)とは別に、学部・学科の垣根を越えて幅広い知識・技能・態度を学修できるカリキュラム。
※2「アクティブ・ラーニング」…教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学習への参加を取り入れた教授法・学習法の総称。

>>> 副専攻課程の代表的な科目

副専攻課程は「コア科目」「アドバンスト科目」「演習科目」の3つの科目区分から構成しており、それぞれに「アクティブ・ラーニング」*2を導入しています。

コア科目

「地域と私」(1年次配当)

「地域」に焦点を当てて学ぶ意義を理解し、地域ではどのような課題が存在しているかを学ぶため、テーマ(「地域経済・経営」「地域政策・文化」「地域環境・防災」「地域医療」)ごとに学習します。また、自分について考え、グループで協働することの大切さを学ぶための研修プログラムに参加してもらいます。和歌山県由良町での体験学習も実施します。現地の雰囲気を感じながらグループで調査を行い、発見した課題と解決策を考え、発表します。



コア科目

「北河内を知る」(1年次配当)

摂南大学が立地する「北河内」地域で活躍する団体や機関の人びとの活動状況などを学習します。外部講師の講演とグループディスカッション・グループワークを交え、この地域に住む人々の暮らしや特徴、現在の問題と今後の課題を知ることにより、摂大生としてどのように関わることができるかを考えます。



アドバンスト科目

「摂南大学PBLプロジェクト」(2年次配当)

学生が学外の企業や自治体と連携して自ら課題を発見し、チームで協力して課題の解決に取り組む体験型の授業です。定期的に学外でのフィールドワークを行い、地域社会に存在する課題を探ります。社会の現状を知るとともに、課題を発見し、解決するためのプロセスを体感することができます。



演習科目

「地域貢献実践演習」(3年次配当)

コア科目、アドバンスト科目で得た学びの集大成となる科目です。地域課題を発見し、解決策の提案を行います。立案する解決策を確かなものとするために、フィールドワークや調査結果の分析により、根拠を蓄積していきます。演習を通して物事に主体的に取り組む力を養成します。



履修学生の声

[法律学科1年 大月 瑠奈さん]

グループワークが中心の授業が多く、周りの人とコミュニケーションをとる場があって、他学部の人とも交流できることに魅力を感じて履修を決めました。和歌山県の自宅から片道2時間以上かけて通学しているので、クラブ活動などの参加が難しく、交流の場が少なくなることによって不安を感じていたところだったので。「地域と私」の授業では、地域の課題解決に



向けて議論した際、同世代の真剣な意見を聞くことで、自分に不足しているところをたくさん発見できました。社会のことを考えるということは、自分自身を成長させることになります。人と関わってコミュニケーション能力を高め、社会に出る準備をしっかりしたいと思います。

授業担当教員の声

[教務部長 荻田 喜代一 教授]

授業はグループディスカッションや地域でのフィールドワークが中心で、地域や社会で活躍している人々と交流します。和歌山県由良町では、地域の方と一緒に、町おこしや特産品の価値向上に向けた取り組みを行いました。学生は、自らの主体的な学習と地域での課題解決の取り組みを通して、社会で必要となる力を身につけていきます。このプログラムを通して、たくさんの失敗と成功を繰り返しながら、自己効力感を高めて自信を持って社会に羽ばたいていきます。学生一人ひとりが地域社会のリーダーに成長すると確信しています。



「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」のHPもあわせてご覧ください。 URL http://www.setsunan.ac.jp/social_innovation/



摂南大学の特色ある取り組み

Student Life

学生生活

PBL

梅田ロフトと
摂大生の
コラボ！



企業団体・地域と協働し課題解決に取り組み授業「摂南大学PBLプロジェクト」の中から、今年度実施



梅田ロフトのスタッフと協力しながら売り場展開前日に準備をする学生たち

している梅田ロフト（大阪市北区）との連携プロジェクトを紹介します。

このプロジェクトに参加している学生は44人。文系理系を問わず学部学科横断型で取り組みます。学生たちは4～5月にかけてつな

るをテーマに梅田ロフトの魅力がより高まり大学生らしさを全面に打ち出した売り場企画をチーム単位で立案しました。5月下旬にはロフト取締役執行役員の方にプレゼンテーションを行い、その上で実際に売り場展開する企画が選定されました。その内容は女子大生の恋を

応援するグッズや友達同士で盛り上がるパーティーグッズの販売、普段のギフトにちよつとした工夫を施し消費者にサプライズの演出を提案するものや、SNSの煩わしさから離れるための企画など多岐にわたります。随所に学生ならではの視点や発想が光っていました。

7月からは梅田ロフトの現場担当者売り場の展開に向けた具体的な話し合いを重ねました。担当者の意見から、商品を用いて自分たちの思いを表現することの難しさや売り場を作り込んでもいく大変さを実感する学生たち。さまざまな問題にぶつかりながらも試行錯誤を繰り返し、企画の実現に向けて活動を続けました。

8月27日から売り場展開がスタートしました。

前日の夜遅くまで準備をしていた学生たちは、この日を無事迎えられることに安堵の表情を浮かべると同時に、自分たちの企画を目に見える形で実現できたことに大きな喜びと達成感を抱いている様子でした。

夏休み期間ということもあり、お客様の入りも上々。本学の活動を知っていたかくとも、大学生らしい着眼点で作られた売り場に足止め、商品を手に取ってくださいお客様も多数おられました。学生は「自分たちが作り上げた売り場に対し好意的な反応が多くあったことがとても嬉しかった」と話していました。

また、売り場は9月11日まで展開。初めての取り組みであり、タイトなスケジュールの中で普段の学生生活では問われないようなアイデアを求められたことなど、たくさん気づきを得た活動となりました。

学生がこうした難しさや大変さを実感し、新たな気づきや発見を得ながら、自ら設定した目標やビジョンを実現させるために主体的に活動するところが「摂南大学PBLプロジェクト」の醍醐味です。本学の教育理念である「自ら課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人の育成」を実践するプログラムでもあり、「参加メンバー！学外の連携先との協働を通して、「主体性を持って前向きに取り組みむ力」、「自分とは異なった価値観を受け入れる力」、「課題を発見し、解決する力」を身につけるとともに、新しい価値の創造を目指す」を到達目標としています。

今回、梅田ロフトとのコラボレーションを通じ、学生たちは、チームで協働しながら課題解決に取り組み苦労を経験しました。他者と連携を図りながら協力して物事を進めていくことは、将来、社会で仕事をする上で必要不可欠な要素となります。学生たちにとっては、非常に有意義な機会となりました。

学生行事

新学期的恒例行事

新入生

ふれあいキャンプを開催

5月21日・22日と6月4日・5日の2回宇治市総合野外活動センターで、恒例の新入生ふれあいキャンプを



キャンプファイヤー！

実施しました。準備から運営までのほぼ全てを文化会系クラブのボランティアスタッフがを行い、入学後間もない新入生に対して、アクティビティゲームや夕食作りなどを通して、自己や他者への信頼感を深め、成熟した人間関係を構築するきっかけとなることを目的にしています。担当する学生スタッフは、6カ月もの時間を費やしてこの日を迎えました。

最初は緊張気味だった新入生も、さまざまな活動を通じて徐々に打ち解け、キャンプ終了時には、「とても楽しくて2日間があつという間だった」「チームワークを養うことができた」「他学部友達ができ良かった」「たくさん先輩、同級生と話すことができた」と充実した様子を語っていました。

学園祭がいよいよ開催！

学生が主催するビッグイベント、摂大祭（寝屋川キャンパス・摂友祭）枚方キャンパスを今年も開催します。



創意工夫を凝らしたステージや模擬店、来場者参加型のイベントなども多数用意し、子どもから大人まで楽しんでいただける交流の場としての大学祭を目指します。皆さまのお越しをお待ちしております。
◆ご来場の際は公共交通機関をご利用ください◆

寝屋川キャンパス

第42回摂大祭

テーマ「color」

10月8日(土)〜10日(月・祝)

これまでの摂大祭実行委員会が作り上げてきた「color」と第42回摂大祭実行委員会がこれから作り出していく「color」、そして地域住民の方々の「color」、を合せて、新しい「color」を創造したいという思いを込めています。

枚方キャンパス

第5回摂友祭

テーマ「Setsuyuu theater」

10月10日(月・祝)

摂友祭も今年で5回目。そこで、Setsuyuuの頭文字「S」を数字の「5」に見立て、Setsuyuuと表しています。摂友祭を一つの劇場・舞台として演出し、実行委員やその他スタッフが摂友祭を演じる側の立場と捉え、過去最高の摂友祭を作り上げます。

常翔学園3大学の体育会系課外活動団体が交流戦!

6月11日と12日、本学寝屋川キャンパス等で「常翔学園3大学体育会系課外活動団体交流戦」を開催しました。

2011年にスタートした同交流戦は、体育会系課外活動団体が一堂に会して行うもので、今年は44団体(摂南大22、大阪工大19、広島国際大3)延べ1439人が参加しました。

11日に大阪工大大宮キャンパス総合体育館アリーナで開会式と懇親会を行い、翌12日に試合を実施しました。

懇親会では3大学の学生が交流を深め、各大学の体育会本部長からは交流戦に対する意気込みや日頃の活動報告がありました。また応援のため駆け付けた本学ダンスサークル(PEP JOY CREW)やストリートダンス世界大会優勝者の近江聡太さん(外国語学科3年)、大阪工大のストリートダンス部がパフォーマンスを披露するなどし、会場は大いに盛り上がりました。

交流戦では各会場で日頃の練習の成果を発揮する激しい試合が繰り広げられました。また、合同練習を実施する競技もあるなど3大学の各団体が各々の方法で交流を深めました。全団体が参加して行う



交流戦を通じて学園3大学間の絆を育んでいます

※11月19日・20日には文化会の3大学交流会を行います!

就職状況・活動

就カツの状況

―内定率は高水準に―

今年度の就カツ、いわゆる就職活動は3月に説明会が解禁され、選考は6月から開始されました。選考開始時期は昨年度から2か月前倒しになりました。学生は2年前からの

こうした変化に戸惑いもあったと思います。8月から選考開始という変化は昨年度のみなので、比較できるのは一昨年度の就カツです。9月1日現在、本学の内定率は71%。文系は66%超、理系は78%程度で、同時点比較で13ポイント高く、企業の旺盛

な採用意欲を背景に高水準にあると言えます。2014年度までの流れを考えると、今後は9月の夏休み明けから就カツを再開し、11月頃には約80%の学生が終えると予想されます。

未内定学生の支援は?

―行事と個別面談で強力サポート―

就職部では、さまざまな事情から就職未内定になっている学生についても支援を続けていきますので、ご安心ください。ただ定期的なことを考えると早々に相談いただきたいというのが就職部の願いです。今後予定している行事は以下のとおりで、並行して個別面談を進め学生自身の就カツでのベストマッチングを図ります。本学に対する求人企業数は1万社を超えますが、仕事内容、勤務地などの希望が多い場合は受験企業に限られてしまっています。未内定の皆さんにはできるだけ早く対応を考えていただきたいところ

本当の「就カツ」はこれから?

厚生労働省調べでは3年3割という新卒の離職率が定着しています。長時間労働や職務内容の不一致など理由はさまざまです。それゆえ「第二新卒」といった既卒採用の市場も活性化し始めました。今後は就活を「過性の事」としてではなく「働き始める準備をする期間」と捉えましょう。就活を通じて学生の皆さんは「自分がすべきこと」も少なからず気付かれたと思います。忙しい中ではありますが、卒業研究を中心に学生生活の総仕上げにもぜひ取り組んでほしいところです。

また、来年度の就活生の皆さんにはインターシップへの参加をはじめ、「自分が準備すべきこと」を考えていただきたいと思います。英国のEU離脱など、経済・社会環境の変化が予想されています。

就職部ではこうした皆さんの身近にいてサポートをしていきますので、行事への参加や個別面談での来室をお待ちしています。



学内合同企業説明会の様子

個別説明会 7月以後	企業単独の学内説明会(一次選考を兼ねる企業もあり)
就活面談会 9月、11月	企業と学生の立ち会い面談会。文系学生に実施。
個別面談 随時	就職部にて実施中。履歴書・エントリーシートの作成、求人企業紹介、どんなことでも相談を。
模擬面接 随時	就職部にて実施中。予約制です。

環境保全

緑化推進でさらに快適な
キャンパスづくりを

本校は2015年1月に環境
に関する国際的標準規格である

◀樹木プレートのQRコードからは「緑化情報ナビ」にアクセス可能!
▼中庭時計台花壇



「ISO14001」の認証を取得し、環境マネジメントのPDCAサイクルを確実に実施していくためにさまざまな取り組みを行っています。

教職員だけでなく課外活動団体であるキャンパスクリーンサポーター(CCS)の学生によるエコ活動(清掃・消灯作業等)も行っており、審査機関からも良い点として評価されました。今年度は後述のグリーンカーテンにも挑戦しています。

このほか、環境整備の二環として寝屋川キャンパスの主要樹木に樹木名、特徴等を記したプレートを設置しました。樹木プレートにはQRコードを表示しており、樹木情報検索サイト「緑化情報ナビ」に簡単にアクセスでき、樹木の鑑賞時期、生育条件等も確認できます。また、前庭および時計台花壇には季節ごとに花を植え替えるなど緑化推進も行っています。

今後も省エネ活動とともに、過剰しやすく快適なキャンパスづくりを進めていきます。

キャンパスグリーンサポーターが
ゴーヤカーテンに挑戦!

キャンパスクリーンサポーター(CCS)は、学内の緑化・省エネ活動の二環として寝屋川キャンパス5号館学生課前にゴーヤカーテンを設置することを計画し、5月24日、ゴーヤの苗10株を定植しました。

摂南大学の特色ある取り組み「環境保全・図書館」

ゴーヤカーテンは、葉とツルで日差しを避けることで、冷暖房の使用を抑え節電効果があります。また植物は常に水分を蒸発させているので、そこを通る風は涼しく感じると言われています。

CCSメンバーは朝夕の散水だけ

ゴーヤ10株を移植中(5月)



でなく、摘心・摘花、ツルの調整などこまめに手入れをしています。7月現在、梅雨の豊かな雨と暑い日差しを浴びて、ぐんぐんと伸びて先端は2メートルを突破しました。頑張っで育てていきますので、暖かく(でも涼しくなるよう)見守ってください。



こんなに成長しました(7月)



図書館ラーニング・コモンズ開設記念 「トーク・イベント」を開催

学修支援施設「ラーニング・コモンズ」の開設を記念して、トーク・イベント「江弘毅さんと大いに語ろう『街をイキイキ～私たち大学生が地域おこしのできる』」を7月6日に開催し、学生・教職員合わせて約50人が参加しました。

3部構成の第1部は、学生が2件のPBL活動とその成果について発表。第2部では、講師として江弘毅氏を迎え、「街づくりと地域、地図と暦」をテーマに話題提供していただきました。続く第3部では、キャリア教育推進室の水野武講師の進行で、江氏と参加学生を交えた討論会を行い、地域おこしや街づくり活動に参加することの難しさや楽しさなどについて、熱く意見を交わしました。



PBL活動について発表する学生



江 弘毅(こう ひろき)氏
株式会社140B
取締役編集責任者
京阪神エルマガジン「Meets Regional」編集長
などを経て、2006年、大阪市中之島に「編集集団140B」を設立。

交流事業

協定締結

大学を災害時の警察臨時活動拠点に 八幡警察署と協定書を締結

6月6日、枚方キャンパスで京都府八幡警察署と「災害時の施設利用に関する協定」締結にかかる調印式を行いました。

協定の内容は「災害時でも警察機能を途切れさせないために、枚方キャンパスの一部施設を二時的に提供し、警察の臨時拠点とする」ものです。同協定に基づき、8月25日には大規模な水害が発生したと想定して八幡警察署の機能を枚方キャンパスに移転する訓練を実施。八幡警察署員、八幡市役所職員、八幡市消防本部職員、本学教職員や学生ら約100人が参加し、移転訓練のほか、被災者の救助・受け入れやAEDを使用した救急救命訓練など災害時を模擬した実働型訓練を行いました。本格的な訓練に初めて参



災害時に備え、警察機能を大学に移転する訓練

加した学生からは「連絡や報告がスムーズにいかず、自身の課題も見つかった。これからも訓練を重ね、災害時に備えたい」と積極的な意見が聞かれました。



避難者の救助・受け入れ訓練

国際交流

海外プログラムを実施

目的や希望に沿った選択を

多くの学生に国際交流の機会を設けるため、春と夏に海外研修を実施しています。春(3月)には、薬学部・看護学部の学生を対象にフィリピンでの語学研修(英語)を初めて実施しました。ネイティブではない発音や治安に対しての不安もありましたが、参加学生から「きれいな発音と陽気な講師など期待以上の成果があった」と感想がありました。治安の面では、徹底したセキュリティシステムがあり、安価で集中的に学べる機会として今後も継続予定です。夏(8月)には、5カ国(メ



2016年度 海外派遣プログラム結団式

キシコ・台湾・カナダ・韓国・タイ)でのプログラムに総勢26人が参加しました。このほか西日本の大学18校が加盟しているUNGU(University Network for Global Leadership Development in West)が主催するプログラムも実施されます。昨年度UNGUに参加した学生たちは、学内での周知や参加者増に向けた活動にも自発的に取り組んでいます。プログラム参加をきっかけに、新たな活動を開始する学生や、長期留学に挑戦する学生が出てきています。

留学生の受け入れでは、例年、約1年間受け入れられている韓国・大田大の交換留学生に、昨年協定を締結した台湾・南台科技大学と大葉大学からの交換留学生が加わりました。また、短期の留学生受け入れでは、日本語を学ぶだけでなく、学部での授業も一部提供しました。これらのプログラムには18人の留学生在が参加しました。さらに新しい試みとしては、ベトナムから日本留学の見学を目的とする5家族17人を受け入れられました(生徒・学生11人、保護者6人)。これは常翔学園高校との合同プログラムで、本学の国内学生・留学生がサポートしました。

本学ではこのように、海外に行くだけではなく、国内にいながらも外国人異文化に触れる「国際交流」の機会を提供していきます。

外国語学部生が海外派遣

「日本語パートナーズ」プログラムに4人合格

今後は大学推薦枠が可能に

「日本語パートナーズ」は、外務省が所管する独立行政法人国際交流基金が実施するプログラムです。内容はASEAN諸国の中学・高校などで、日本語教師や生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介を行うというものです。外国語学部ではこれまで4人が合格し、インドネシアに2人、タイに2人の学生が派遣されています。これらの実績から国際交流基金と本学は6月、連携協定を締結し、今後は大学推薦枠で「日本語パートナーズ」の選考に応募することが可能となりました。

6月21日には寝屋川キャンパスで全学対象に「日本語パートナーズ」説明会を開催しました。国際交流基金アジアセンター職員から事業について説明があり、次いで昨年インドネシア、スマトラ島の高校で半年間活動した楠本礼奈さん(4年)が「停電と断水が毎日1

度は起こり慣れない生活を経験しましたが、地域の人びとに助けられました」と報告。さらにインドネシア、ジャワ島に赴任予定の金城郁美さん(3年)が「派遣前研修で『日本語って楽しい!』ととっても言うことが重要だと気付きました」と語ってくれました。40人を超える参加者からも多くの質問があり、プログラムへの関心の高さがうかがえました。

現在「日本語パートナーズ」で活動中の学生の声を紹介します。

バンコクの中高 貴校で活動中

山口千尋さん(4年)
「日本語を勉強している生徒以外からも『せんせい!おはよう!』などと声を掛けてもらえるようになりました」

タイロイモットの中高 貴校で活動中
羽柴優太さん(4年)
「タイの生徒たちは授業でよく発言をし、活発で、伸び伸びとしています」



日本語パートナーズ 羽柴優太さんと派遣先の生徒たち

■法曹実務家を招いて特別講演会を開催

6月16日、法政キャリア教育の一環で、1年生を中心とした約280人を対象に特別講演会「法と仕事〜国内で2人しかいない実務家が語る〜」を開催しました。

講師は日比谷総合法律事務所弁護士神垣清水（かみがきせいすい）客員教授。神垣教授は、東京地方検察庁の特捜部時代にロッキード事件やリクルート事件の捜査に携わったほか、オウム真理教による地



法学の魅力語る神垣教授

下鉄サリン事件では刑事部副部長として60人の検事を指揮。その後、公正取引委員会委員などを経て、現在は弁護士として活躍されています。

講演では法学部の4つの進路別コースを挙げ、法律の専門家としての道と非法律としての道を例示し、

法律を学ぶ意義や、今の学びが将来の仕事にどうつながっているか、社会の中での法律の役割などについて語りました。講演の合間には、最近マスコミをにぎわした政治家の公的資金流用問題やタレントの覚せい剤事件を法律的視点から解説するなどさまざまな話題を提供し、会場の関心を引き付けました。また、自身が関わったオウム事件の捜査尋問についてその裏側も含めて紹介。学生たちは、自分たちの生まれる前の時代に起きた事件にも関わらず、新聞やニュースを見るだけでは知ることのできない内容だけに、熱心にメモを取りながら聞き入っていました。

講演終了後のアンケートでは、「検察官検事の仕事に興味を持った」「目標とする法曹関係の仕事をしている方の貴重な話を聞くことが

でき、とてもためになった」「法的思考力を身につけることの大切さを知った」「法学部は幅広い進路の選択肢があるので勉強して自分のなりたい道に進もうと思った」など感想を述べ、法学部の学生たちにとって自身の将来を考える良い機会となったようです。



多くの学生であふれる講演会場

■MOS世界学生大会の日本予選で入賞

外国語学科の丘ありさん（4年）が、MOS（マイクログソフト オフイ スペシャルリスト）世界学生大会の日本予選で入賞しました。この大会にはワード、エクセル、パワーポイントの分野があり、挑戦者は全国で延べ4万8千人にも上ります。入賞できるのは、それぞれわずか20人。丘

さんはパワーポイントの大学・短期大学部門で受賞の快挙を成し遂げました。「新規事業の企画提案などを行う際に、勉強したことを生かしたい」と今後の意気込みを語ってくれました。



東京で行われた授賞式に出席した丘さん

学生参加の各種イベントを開催しました

- 英語、中国語、スペイン語、インドネシア・マレー語専攻で新入生歓迎会（4～6月）
- 2015年度秋学期多読マラソン（英語）表彰式（5月9日）
- 外国人留学生との交流「ニホンゴパーティ」（6月22日）
- 2016年度漢字コンテスト表彰式（7月19日）
- 大阪中学生サマー・セミナー（7月23日）
- 上海外国語大学（中国）・サザンクロス大学（オーストラリア）への海外実習（8～9月）



中国語専攻神戸見学



スペイン語専攻新歓・交流会

経済学部

Faculty of Economics

■ 摂南経済

ゲストレクチャーを実施

― 講師に外国総領事や
企業トップを招く

実地に近い教育を行うという経済学部コンセプトを具現化した授業の二つに「摂南経済ゲストレクチャー」があります。担当教員のガイドのもとゲスト講師を招いて、学生は生きた経済の現実の課題と活動に触れる機会となっています。

今年度は5人の多彩なゲストを招き「グローバル化した世界で働くには何が必要なのか」「関西の企業はどのようなイノベーションで市場に対応しようとしているのか」「企業と地域の関わりはどのように展開しているのか」等、国際経済、地域経済、観光経済などのトピックに関連したテーマで実施しました。



千島土地(株)芝川能一社長

ゲスト：千島土地(株)社長／三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)芸術・文化政策センター長／西山酒造場社長／在大阪イタリヤ総領事／兵庫県立大学大学院経営学研究科教授



在大阪イタリヤ総領事(前列中央)

■ 上海とオーストラリアへの海外研修を実施

夏期休暇中に上海およびオーストラリアへの海外短期研修(国際経済実践演習)を実施しました。上海研修(7日間)は、さまざまな企業を視察し、現地の日本人スタッフ



▲上海研修
▼オーストラリア研修

から中国におけるビジネスの難しさ、楽しさ、やりがいとヒアリング。グローバルに活躍できる人材について学びました。また、中国人学生とチームを組み、ユニクロ等の企業でのフィールドワークから、日中の接客サービスや価値観の違いなども体験しました。

豪州研修(16日間)は、ニューイングランド大学で英語授業を受けるとともに、日系企業および和牛農家訪問により経済の動きに触れ、経済学部生として必要な知識、英語力の向上を図りました。

海外研修に参加した学生は、異国での交流を通じて、日本と外国の生活、文化、経済の違いを感じ、これからの国際社会に必要な素養をあらためて認識することができました。

Faculty of Business Administration

経営学部

■ 経営学部生対象の説明会を開催「目指せ、未来の公認会計士！」

5月31日、経営学部生を対象に「公認会計士制度説明会」を開催しました。この説明会は、日本公認会計士協会近畿会の協力のもと、2012年度から毎年継続して行われており、今回は約90人の学生が参加しました。

「監査・税務コンサルティング」という公認会計士の主な業務についての紹介後、試験制度の詳細な説明がありました。このほか、公認会計士の宮口亜紀氏と米山高志氏からは、性別や年齢に制限がなく、全員がプロフェッショナルとして扱われることや、会計基準が世界で統一されつつあり、活躍の場が海外に



やりがいについて熱く語る米山氏の言葉に聞き入る学生たち

も広がっていることなどの説明を受けました。最後に、本学経営情報学部(現、経営学部)の卒業生で公認会計士として活躍する野坂宇内氏は「勉強は嫌、でも試験時間中は集中するもの。何事にも全て本番の試験だと思っ

て集中して受験勉強に取り組んだことが合格につながった」と、自身の体験を熱く語りました。

終了後には、公認会計士の方々との意見交換を行う積極的な学生の姿が見られました。本学部では未来の公認会計士が生まれることを期待するとともに、公認会計士、税理士を目指す学生の「助となるよう、簿記検定試験の受験料補助および単位認定等を継続して行います。



女性も働きやすい環境が整っていると説明する宮口氏

建築学科

■学生主体の建築デザインフォーラムを開催

— 全建築学科生が一堂に会する

建築学科は2月6日、全学年の学生が一堂に会する第1回建築デザインフォーラムを開催しました。これまで学科学科として卒業設計に関する発表会等を実施してきましたが、本フォーラムは「学生主体による全学年が一堂に会するデザインフォーラム」として企画されました。当初、教員は「どうなることか」と少なからず心配しましたが、学生スタッフ17人が立候補で決定されて以降は、冊子の編集、会場のしつらえ、参加者の席決め等、フォーラム参加者となる1年生も理解しやすく楽しめるように工夫してくれました。

当日会場に集まった参加者は全建築学科生を含め約350人。第1部では、1年生から3年生の代表者11人が、設計演習課題で製作し

た自分の作品について図面と模型を用いてプレゼンしました。建築学科の設計演習では、代表者が自作品を他人にプレゼンすることを日常的に行っています。しかし、今回のデザインフォーラムの参加者は、先輩・後輩が混在した建築学科生全員であり、教員、非常勤講師の先生方のほか、保護者も多数お越しになりました。代表者11人は非常に緊張しつつも堂々と自分たちが与えられた課題から何を感じ、どう考えて設計したのかを丁寧に説明してくれました。第2部は、4年生の卒業設計選抜者発表でした。こちらは一気に会場の緊張感が高まり、説明する4年生の気合い十分なプレゼンに圧倒されている後輩もいました。フォーラムゲストとしてご講演の建築家武井誠氏には第2部の審査員として、学生に貴重な意見をいただきました。

第1回建築デザインフォーラムは、学生たちによる汗と涙の結晶だったと思います。このフォーラムを今後も学生企画として続けていくかについては、これからの建築学科

生に委ねたいと思います。しかし、今回の汗と涙は、きっと後輩に伝わったはず、と信じています。



第1部 学生による作品発表の会場風景

卒業生からのメッセージ ～看護学部1期生～



現在の様子を聞いてみました。

勤務先:大阪市立総合医療センター
常門 昭寿さん
看護学科 2016年3月卒業

●配属された部署・病棟を紹介してください。

総合医療センター17階病棟に所属しています。桜病棟は、血液内科と腫瘍内科の病棟です。主に血液疾患の患者さんが多いです。抗がん剤を使ったり、クリーンルームがあったりと、特殊性のある病棟で、日々覚えることは多いですが、先輩看護師が手厚いサポートしてくれるので、毎日充実しています。

●今の状況を教えてください。

休日勤務、夜勤も経験するようになりまし。おかげで、病棟の1日の流れを知ることができました。点滴管理や採血など、実際に経験すると同時に、自分が行うことに対して責任感が増すようになりました。

●先輩へ「ひとこと」

今は実習や研究で忙しい時だとは思いますが、それは全て看護師に

なるためのことです。自分の看護を提供する病院を探すことも大切なことなので、自分に合う病院探しをしてみてください。実際にインターシップなどで肌で感じてください。僕はインターシップで、ここに就職するぞ!と思いましたが、モチベーションにもつながるので、楽しく病院を選んでください。

■全員合格!

国家試験合格・就職内定に向けた努力が実りました!

看護学部1期生が2月に看護師・助産師国家試験を受験した結果、いずれも受験者全員が合格しました。就職活動も絶好調で、卒業生全員が就職内定を得て、それぞれ100%を達成しました。



看護師

国家試験合格率

100%

助産師

国家試験合格率

100%

就職率

看護学部第1期生

100%

■学会賞を受賞

薬学部の学生の多くは、日々の研究成果を学会や学術論文に報告しています。今回、5月に開催した「日本薬剤学会第31年会」において「日本薬剤学会永井財団学部学生七つ星薬師奨励賞」を受賞した2人の学生を紹介します。

櫻本 憲明さん(6年)

私は、「In vitro D/P systemを用いたナノ製剤化による難水溶性薬物の吸収改善効果の評価」をテーマに発表を行いました。本研究を進めることで、新薬開発時に、動物を使用せず、In vitro D/P system という機械で、吸収改善効果の測定を行うことができるようになり、創薬の簡便性の向上や、ローコスト化が期待されます。

まず、4年次の研究室配属で、共同研究に係る外国人研究員の研究活動の補助から始めました。右も左もわからない、意思疎通は全て英語という環境の中に身を置き、半年間研究活動に取り組みました。コミュニケーションを円滑に図ること

ができないケースも多々ありましたが、聞き取れた単語をキーワードにあらゆる媒体を用いて情報収集し、確認を取るといった行為を何度も反復することで、自身の知識にしていきました。

また、研究テーマが定まった後も同様に、結果を教授に報告し、自身の推察と教授の考えの相違点を吟味。必要な情報を収集し、修正、改善を繰り返すことで見識を深めました。

このように多くの試行錯誤を重ねた結果、学会発表の機会を得ることができました。学会では、学外の有識者の方々から多くの助言を頂戴し、自身にない視点に感化されながらもまだまだ勉強不足であることを痛感しました。この貴重な経験を、今後の研究活動、さらに卒業後



長良川国際会議場(岐阜市)での授賞式

の社会人生活に活かしていきたいと考えています。

三嶋 大輝さん(6年)

私は、「過飽和製剤投与後の難溶性薬物の吸収における消化管内再溶解の寄与」というテーマで研究発表を行いました。くすりの候補として研究を始めた化合物が、新薬として世に出る成功確率は3万分の1といわれています。本研究で過飽和製剤化の有用性を証明し、医薬品開発の成功確率の向上に寄与することを目的として5年次から薬剤学研究室に所属し研究をしてきました。

自身の研究を何らかの形で残したいと考え、学会での発表を目標に研究に取り組みました。研究期間が1年間と短い中、効率よくデータを集めるために、毎日欠かさず指導教員、実験チームの後輩とディスカッションを行い、実験方法の工夫や失敗の原因探求を行いました。その結果、学会発表に必要なデータを揃えることができ、賞をいただくまでに至りました。

学会では、大学などでの最先端の基礎研究や製薬会社での医薬品開発の現状と課題などを聴講し、さら

に医薬品開発への理解が深まりました。来年の4月からは、製薬企業のMR(医薬情報担当者)として働きます。将来はMRとして、さまざまな人々の想いが込められて世に出た医薬品を、世界中の人々に普及させ、一人でも多くの患者さんを笑顔にできる人材になりたいと強く思います。

■臨床研究センター設立記念シンポジウムを開催

4月に設立した臨床研究センターの開設を記念して7月16日、設立記念シンポジウムを開催しました。

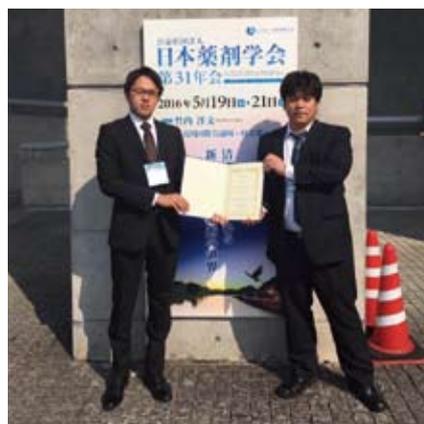
臨床研究センターは「基礎と臨床を融合させた研究を通して、医療イノベーションを推進すること」を目的として設置したもので、本シンポジウムは「日本の小児医療環境を考え、学外から7人の演者を

招いて実施しました。当日は、小児医療の現状や薬剤師として果たすべき役割について、行政や現場の最前線から活躍されている方々から貴重なお話を聴くことができました。

今後、当センターを中心とした産官学連携ネットワークを構築し、その成果が日本のみならず世界の医療に貢献できるよう目指します。



熱心に聞き入り、小児医療環境の未来を真剣に考える参加者たち



三嶋さん(左)と東野晴輝助教

情報教育支援

■学生個人が所有するパソコン等に Microsoft Office 製品をインストールできません

本学では、Microsoft社と教育機関向け包括契約を締結しており、学生個人が自宅等で所有するパソコン等にOffice 365 ProPlus (Microsoft Office製品)を在学期間中に限り、無償でインストールし、使用することが可能になりました。使用については各種条件、注意点がありますので、ホームページで詳細を確認してください。インストール方法についてもホームページに掲載しています。



使用できるソフトの一例

http://www.setsunan.ac.jp/~center/Office365ProPlus/

■無線LANエリアの拡張について

2015年度に実施した情報処理設備の利用者アンケートにて要望が多かった無線LAN環境の改善を行いました。これまで大学全体での使用可能台数に上限がありました。無線LANに繋がりがよくなりました。また、一部のゼミ室や製図室などこれまで無線LANが使用できなかった場所にもアクセスポイントを増設しました。



無線LANエリア

無線LANに繋がりがよくなりました。また、一部のゼミ室や製図室などこれまで無線LANが使用できなかった場所にもアクセスポイントを増設しました。

情報教育支援

これにより、教室を主として図書館、談話室、ロビー、食堂など学内各所で無線LANが使用できるようになりました。

無線LANは学内における教育研究活動を支援するために整備していますので、娯楽目的での動画視聴やWEB閲覧等はご遠慮ください。また、無線LANに接続するパソコン等には必ずセキュリティ対策ソフトをインストールしてください。無線LANが使用できるエリアおよび接続方法については、情報処理(演習)室からオンラインマニュアルを参照してください。

■ATR CALL BRX (英語学習 eラーニングシステム) のご紹介



ATR CALL BRX (英語学習 eラーニングシステム)

ATR CALLは、日本人が英語を学習するときの聞き取りや発音の学習メカニズム研究に基づいて開発された、英語の「音」に注目したeラーニングシステムです。「読む」「書く」「聞く」「話す」を効果的にバランスよく学習できるように学習課題が用意されています。学内のCALL教室や情報処理(演習)室のパソコンからだけでなく、自宅のパソコンやスマートフォンから利用が可能です。大学ホームページ「在学生の方へ」にログイン用のメニューを設けています。情報処理(演習)室のパソコンと同じIDとパスワードでログインした後、各コースから学習を進めることができます。

研究支援

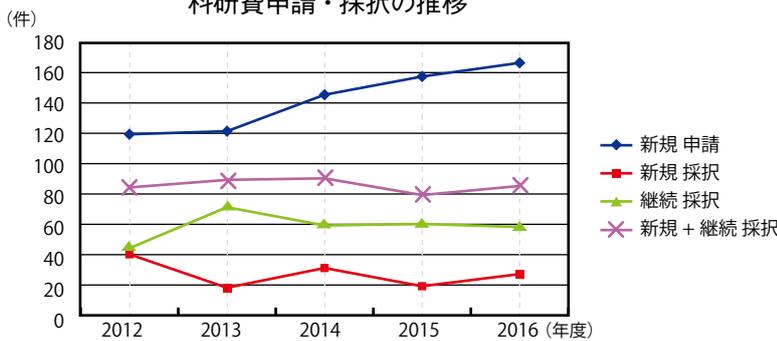
研究支援

■科研費
新規+継続採択件数は85人

2016年度の科学研究費助成事業(※)には166人の教員が応募し、新規+継続採択者は85人となりました。今年度の科学研究費助成事業の配分額は1億3520万4千円となります。

(※)科学研究費助成事業(科研費)とは? 人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を対象とした「競争的資金」です。

科研費申請・採択の推移



MOBIOテーマ別大学・高専合同研究シーズ発表会が開催

MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)産学連携オフィスは、企業の技術開発に役立つ大学・高専の研究シーズ発表会を開催。本学教員が研究成果を発表しました。発表後には参加者との活発な意見交換も繰り広げられました。

【6月14日】

テーマ：金属(材料・加工)

発表者：理工学部 機械工学科

原宣宏 教授

発表タイトル：チタンをつまぐ切削加工するには



原教授による発表

【7月28日】

テーマ：ロボット、機械制御

発表者：理工学部 電気電子工学科

片田 喜章 准教授

発表タイトル：ホモジニアス群ロボット制御技術



片田准教授による発表

入試

インフォメーション

「お問い合わせ先」

入試部

(寝屋川キャンパス)

TEL: 072-1839-19104

特別奨学金制度

「一般入試前期A日程」「大学入試センター試験利用入試前期」の入試成績優秀者を特別奨学生として認定します。「一般入試前期A日程」は年間授業料の半額相当額を、「大学入試センター試験利用入試前期」は年間授業料の全額相当額を入学初年度に限り給付します。

英語資格等保持者優遇制度

公募制推薦入試A・B日程(法学部・外国語学部・経済学部・経営学部)、大学入試センター試験利用入試前期・中期後期(全学部)に「英語資格等保持者優遇制度(みなし得点制度)」を設けています。実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL、GTECなどの合格または取得スコアを、英語適性検査あるいは大学入試センター試験「英語(リスニングを含む)」の得点にみなして換算する制度です。

看護学部で「化学」が選択可能に

看護学部の公募制推薦入試A日程・B日程、一般入試前期A日程・B日程の選択科目に「化学(化学基礎・化学)」を追加しました。

入試区分	募集学部	試験日	出願期間(インターネット)	合否発表日
公募制推薦入試	法学部 外国語学部 経済学部 経営学部 理工学部 住環境デザイン学科	11月5日(土)	10月11日(火)~10月26日(水)	11月15日(火)
	全学部	11月6日(日)		
	B日程	全学部	11月27日(日)	11月1日(火)~11月19日(土)
一般入試	全学部	1月23日(月) 1月24日(火)	1月1日(日)~1月14日(土)	2月8日(水)
		1月23日(月) 1月24日(火)		
	法学部 外国語学部 経済学部 経営学部 理工学部 住環境デザイン学科	2月9日(木)	1月1日(日)~1月30日(月)	2月21日(火)
	全学部	2月10日(金)		
後期日程	全学部	3月5日(日)	2月12日(日)~2月26日(日)	3月19日(日)
大学入試センター試験 利用入試	全学部	本学 個別学力試験は 課しません	1月1日(日)~1月14日(土)	2月8日(水)
	全学部		1月1日(日)~1月30日(月)	2月21日(火)
	全学部		2月12日(日)~2月26日(日)	3月19日(日)

※AC・BC日程は「センター試験プラス方式」。AC日程は一般入試前期A日程+センター試験、BC日程は一般入試前期B日程+センター試験の受験が必須です。

2015年度 後援会決算書

1 一般会計

(収入の部) (単位:円)

項目	予算(a)	決算(b)	差異(a-b)
教育振興会援助金	49,560,000	48,678,000	882,000
貸付金回収収入	20,000	20,000	0
利息収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
前年度繰入金	15,531,357	15,531,357	0
特別会計からの繰入金	0	0	0
収入合計	65,111,357	64,229,357	882,000

(支出の部) (単位:円)

項目	予算(a)	決算(b)	差異(a-b)
広報費	4,947,000	3,429,918	1,517,082
役員・教職員懇談会費	2,500,000	1,636,967	863,033
教育懇談会費	16,005,000	11,543,798	4,461,202
慶弔費	600,000	380,000	220,000
教育活動援助費	23,812,668	18,967,577	4,845,091
課外活動援助費	4,500,000	4,499,103	897
就職関係費	3,500,000	2,974,744	525,256
人件費	2,500,000	1,592,760	907,240
会議費	3,594,000	2,782,011	811,989
事務費	1,432,000	1,158,911	273,089
予備費	1,720,689	0	1,720,689
次年度繰越金	0	15,263,568	△ 15,263,568
支出合計	65,111,357	64,229,357	882,000

(貸付金の部) (単位:円)

前年度貸付繰越残高	収入(返済)	支出(貸付)	貸付繰越残高
20,000	20,000	0	0

※2015年度完済者1名

2 特別会計

(収入の部) (単位:円)

項目	予算(a)	決算(b)	差異(a-b)
前年度繰入金	68,350,611	68,350,611	0
利息収入	4,000	3,989	11
一般会計からの繰入金	0	0	0
収入合計	68,354,611	68,354,600	11

(支出の部) (単位:円)

項目	予算(a)	決算(b)	差異(a-b)
次年度繰越金	58,352,855	58,882,136	△ 529,281
40周年記念事業	10,000,000	9,471,924	528,076
残高証明書発行手数料	1,756	540	1,216
一般会計への繰入金	0	0	0
支出合計	68,354,611	68,354,600	11

※残高証明書発行手数料・振込手数料

2016年度 後援会予算書

1 一般会計

(収入の部) (支出の部) (単位:円)

項目	当年度予算	項目	当年度予算
教育振興会援助金	49,404,000	広報費	5,381,000
貸付金回収収入	0	役員・教職員懇談会費	1,948,000
雑収入	0	教育懇談会費	16,509,000
前年度繰越金	15,263,568	慶弔費	500,000
特別会計よりの繰入金	0	教育活動援助費	23,317,000
		課外活動援助費	4,000,000
		就職関係費	3,500,000
		人件費	2,200,000
		会議費	4,085,000
		事務費	1,520,000
		予備費	1,707,568
		次年度繰越金	0
収入合計	64,667,568	支出合計	64,667,568

2 特別会計

(収入の部) (支出の部) (単位:円)

項目	当年度予算	項目	当年度予算
前年度繰越金	58,882,136	次年度繰入金	58,884,336
利息収入	4,000	40周年記念事業	0
一般会計よりの繰入金	0	残高証明書発行手数料	1,800
		一般会計への繰入金	0
収入合計	58,886,136	支出合計	58,886,136

2016年度 秋期 教育懇談会のご案内

ご家庭と大学をつなぐ連携の一つとして、教育懇談会では保護者と各学部の先生がご子女の修学状況、学業成績、大学生活、就職問題などについて、個別に懇談をしていただく機会を提供しています。

6月11日(土)に開催した春期教育懇談会では、寝屋川・枚方合わせて512組665名の保護者の方にご参加いただきました。秋期教育懇談会では、本学(寝屋川・枚方)会場に加えて、学外8会場で開催いたします。

詳細については、8月に送付いたしました案内状、または本学ホームページをご確認いただけますようお願いいたします。

本学HP 後援会ページ
<http://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/education.html>

2016年度 開催スケジュール

10/ 8(土) 本学【寝屋川】	10/29(土) 岡山、松山
10/22(土) 本学【枚方】	11/13(日) 難波
	11/20(日) 京都、金沢
10/ 2(日) 奈良	11/26(土) 米子
10/16(日) 福岡	

後援会長 挨拶

保護者の皆さまには、日頃より摂南大学後援会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。私は、本年度より、後援会会長に選任されました若松覚美と申します。



後援会会長
若松 覚美

後援会は、大学と家庭との連携を密にし、より良い教育環境の提供を目指し、5つの事業に取り組んでいます。中でも重点的に取り組んでおります教育懇談会については、ご子女の様子を担当の先生から直接聞くことのできる貴重な機会です。この機会にぜひともご出席いただき、日々の不安を解消いただくとともに、参加者同士の情報交換の場としてもご活用いただければと思います。就職状況についても大学の就職担当職員がご相談をお受けしますので、ぜひご利用ください。

保護者の皆さまには、今後とも後援会活動の趣旨をご理解いただくとともに、各種行事への積極的なご参加をお願い申し上げます。

2016年度 事業計画

1	大学と家庭との連絡提携	キャンパスガイド・摂大キャンパス・成績表の送付 ほか
2	教育懇談会の実施	春期・秋期2回開催(秋は学外でも実施)
3	教育に対する援助	研究発表・ゼミ旅行・資格試験援助 ほか
4	学生の課外活動に対する援助	課外活動に対する援助、大学祭開催に伴う援助 ほか
5	就職活動に対する援助	保護者向け就職支援冊子作成費援助、就カツ保護者セミナー開催費用援助

2016年度 後援会総会・役員歓送迎会を開催しました

2016年度後援会総会を5月28日(土)、寝屋川キャンパス1243教室で開催しました。開催に先立ち、松本由紀子会長の挨拶の後、議長に藤村泰功副会長が選出されました。①2015年度事業報告および収支決算の件、②2016年度役員選任の件、③2016年度事業計画および予算の件について議案の審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。2016年度の三役は、下記のとおり選出されたほか、新たに18名の新役員候補者が承認され、計73名の新運営体制が整いました。

同日開催した「役員歓送迎会」では、新旧役員58名と、本学からは八木紀一郎学長をはじめ各学部長など役職者32名が出席し、大学の近況を話題に歓談しました。開催に先立ち、八木学長からこれまでの活動に対するご尽力に感謝の意を表し、感謝状が贈呈されました。



総会の様子



退任代表の挨拶をされる松本前会長

2016年度 新三役 ※敬称略・50音順

会長	若松 覚美 (経済学部)
副会長	牛島 弥江 (薬学部)
	川嶋 ひろみ (経営学部)
	河村 彰則 (理工学部)
	神田 耕吉 (薬学部)
監事	大賀 洋子 (外国語学部)
	瀬戸 優子 (経済学部)

表彰者 ※敬称略・50音順

滝澤 和代 (法学部)
日高 香代子 (理工学部)
藤村 泰功 (看護学部)
松本 由紀子 (薬学部)

家計が急変し、学費の支払いに困った場合は

奨学金・教育ローン・学費減免・アルバイトのご案内

区分	名称	返済の要・不要
奨学金	①日本学生支援機構奨学金(JASSO)の緊急・応急採用	必要
	②貸与金額の増額(すでにJASSO奨学生の場合)	
	③地方公共団体・民間奨学団体の奨学金	団体により異なる
教育ローン	①国の教育ローン 日本政策金融公庫	必要
	②本学との提携ローン 学費サポートプラン(オリエントコーポレーション) 悠裕プラン(ジャックス)	
学費減免	学費減免制度(※給付制の学内奨学金を受給している者等、適用対象外となる場合があります)	不要
一時金	JASSO支援金(自然災害等により被害を受けた場合)	不要

*申請にあたっては、申請書をはじめ収入に関する書類等が必要です。また、募集案内や説明会等、奨学金に関することは、ポータルサイトでお知らせしますので、情報は見落とさないようにしてください。

不慮の事故や災害等により家計が急変し、学業継続に支障が生じた場合の経済支援策をご案内いたします。

▶ アルバイトのご案内

パソコンや携帯電話からいつでもどこでも安心な求人情報が入手できるサービスを提供していますので、有効に活用してください。

◎利用にあたっては、㈱ナジックへのアルバイト登録が必要です。登録希望の方は、本学のHP>学生生活>「学生マンション・アルバイトについて」から手続きしてください。

球場ビジョンには
摂南大学を紹介する映像が流れる

大学 Day」を開催

しました。
クス・バファローズ 対 横浜DeNAベイスターズ」戦を楽しみました。
て親交を深めました。

摂南ファミリーが 会場を盛り上げる

オープニングイベントには、摂南ファミリーのシンガーソングライター神南昌一さん、タレントで女優の安田美沙子さんらも登場。神南さんは堂々とした歌声で国歌を独唱し、安田さんは始球式に登板して会場を盛り上げました。このほかマスコット始球式に薬学部OGの江河智美さん、両球団選手への花束贈呈は卒業生家族の子どもたちが笑顔で登場し、大舞台で大役を務めました。



始球式

始球式に登板した安田さん



国歌独唱

堂々とした歌声で国歌を独唱する神南さん



テレビ取材

テレビ取材で在学時の研究や現在のMRの仕事について応える江河さん

選手への花束贈呈



練習見学



グラウンドに下りて選手の練習を見学

写真撮影会



サイン会



スタメンキッズ



スタメンキッズに選手からサインボールのプレゼント

ボールボーイ



球場内でボールボーイを務めるキッズ

イベントは盛りだくさん 歴史を振り返るパネルも展示

選手との写真撮影会やサイン会、グラウンドでの選手の練習見学やキャッチボール、スタメンキッズ、ボールボーイなど、とにかく盛りだくさんの「All 摂南大学 Day」。球場コンコース内には特設ブースを設けて、大学開学から現在に至るまでの歴史を記したパネル展示を行い、ホームカミングディとして卒業生に在学時を懐かしく振り返っていただける内容にしました。



球場コンコースには大学の歴史を振り返るパネルを展示

【写真協力©ORIX Buffaloes】

ホームカミングデー

特集

ホームカミングディ「All 摂南」

6月12日、京セラドーム大阪(大阪市西区)でホームカミングディ「All 摂南大学 Day」を開催当日は、卒業生や在学生ら約1000人の摂南ファミリーが集い、参加者は本学協賛試合「オリックス試合」後は、ドーム内のスカイホールに会場を移し、卒業生や家族、教職員による交流会を通し

フィールドワーク



経済学部生が来場者にアンケート調査を実施

経済学部は授業の一環 フィールドワークでデータも収集

この日は経済学部生対象「キャリア特別講義」の履修学生が球場内外で来場者にアンケート調査を実施。今年は「女性ファンのプロ野球観戦に関する意識、観戦のリピーターを増やすための方法」をテーマに取り組んでいます。これらの調査・分析結果は11月に開催のオリックス・バファローズ主催「大学生によるマーケティングプレゼンテーション」で発表します。



安田美沙子さんが在学時の思い出を語る 恩師からのメッセージに「感動しました！」

始球式に先立ち、場外ステージでのトークイベントにも登場の安田さん。オリックス・バファローズMCの美緒さんから「天使」と称される笑顔で、元気いっぱいに学生時代の思い出を語りました。

大好きだった英語、ユニークな先生、毎日楽しみにして友達と食べた学食、京都の自宅から大学にはスーツケースを持って通い、仕事にも向かう日々だったことも。そして、勉強と芸能活動の両立をしばらく続けた後、大学からの海外留学と東京での仕事が本格的に忙しくなる時期が重なり、悩んだ末に大学をやめる選択をしたことにも触れ、「(やめてしまい)ずっと支えてくれていた友達や先生に悪いなと思っていたので、今日は感謝の気持ちを伝えに来たかった」とコメント。会場のファンは安田さんのトークに聞き入っていました。

途中、在学時にゼミ担当だった恩師(田中健二・元外国語学部教授)からのメッセージを紹介すると、「感動しました! いつも対等に接し

Message from the teacher



てくれる先生で、いろんな相談をさせてもらいました。仕事のことも認めて「どっちも頑張れ」と応援してくれていました」と懐かしみました。

場外イベントステージ



試合前の場外イベントステージで在学時の思い出を語る安田さん

プロフィール



やすだ みさこ
安田 美沙子さん
京都府出身

2001年、国際言語文化学科(現・外国語学科)入学。在学中にスカウトされ芸能界デビュー。ミスマガジンコンテスト2002で、ミスヤングマガジンに選出され注目を集める。現在はタレント、女優と幅広く活躍する。



かんな しょういち
神南 昌一さん
広島県出身

2013年、外国語学科卒業。卒業後にシンガーソングライターとして活動を始める。今夏にはセカンドシングルをリリースし、広島・大阪2つの故郷の声援を背に全国へ向けて熱い想いを届ける。



試合後の校友交流会の様子

図書館
本館1Fに

ラーニング・コモンズが
オープンしました!

学生の自主的な学習活動を支援するためのスペース「ラーニング・コモンズ」がオープンしました。グループで学習し、議論したり教え合ったりして仲間と成果物を作り上げることができ、従来の講義を受けて知識を得る「受身型」から「問題解決型」へと学習方法の変化に対応した環境を整えています。

最新式のプレゼンテーション機材を備え、グループ学習・発表、プロジェクト活動やゼミ、イベント等に利用できます。ノートパソコンの貸出サービスもしています。

施設は原則としてオープン利用で予約の必要はありません。詳細は、施設内のサポートコーナー(または1Fカウンター)にお尋ねください。

グループワーク
エリア

主体的に行動・学習する場



プロジェクトブース

仲間と話し合い、
アイデアをまとめる場



プロジェクトステージ

まとめたアイデアや意見を
発表、発信する場



資格サポートセンターをご利用ください。

学生の皆さんの就職活動や将来をサポートするため、資格取得についての相談や資格対策講座を開講しています。講座は学内において比較的安価で受講できるので、効率よく学ぶことができます。資格取得のために積み重ねた努力や経験は、皆さんの財産となり自信にもつながります。在学中にぜひ挑戦してみてください。

約1100人

の学生が資格対策講座を
受講しています(2015年実績)

合格実績 (2015年度)

公務員

大阪国税局・国土交通省近畿地方整備局・大阪府庁・
滋賀県庁・京都市役所・堺市役所・尼崎市役所
東京消防庁・堺市消防局・警視庁・大阪府警察本部・
兵庫県警察本部・奈良県警察本部など

合格者
続々!

宅地建物取引士

合格率 **22.7%** 全国平均: **15.4%** (2015.10実施)

リテールマーケティング
(販売士)1級

合格率 **78.6%** 全国平均: **19.2%** (2016.2実施)

秘書検定2級

合格率 **80.9%** 全国平均: **58.4%** (2015.11実施)

MOS

合格率 **96.9%** 全国平均: **非公開** (2016.3実施)

※MOS:Microsoft® Office Specialist (Word・Excel®・PowerPoint®)

場 所:寝屋川キャンパス5号館1階
開室時間:10時~18時(日・祝日および大学休業日は閉室)

お問い合わせ先

TEL:072-812-6006 Mail:setsunan@josh-shikaku.jp
URL:http://josh-shikaku.jp/setsunan/

さ
や
け
き

「さやけき」とは

「清けき」と書き、明るい、清々しい、清く澄んでいるなどの意味を表します。大学歌に「学風さやけき撰南の」という詞があるとおり、本学の明るく、若さあふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。

表紙の人



安田美沙子さん(左)、江河智美さん(右)
6月12日、ホームカミングディとして開催した京セラドーム大阪での本学協賛プロ野球セパ交流戦において、撰南ファミリーを代表して始球式を務めた2人。

(詳細は本誌P.18・19で紹介しています)